

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦

第63期 上半期  
株主通信

2013年4月1日 ▶ 2013年9月30日

日本光電

P6 新商品紹介

医療現場の声を形にした  
新商品が続々登場！



臨床化学分析装置「CHM-4100」

Fighting Disease with Electronics

 NIHON KOHDEN

証券コード：6849

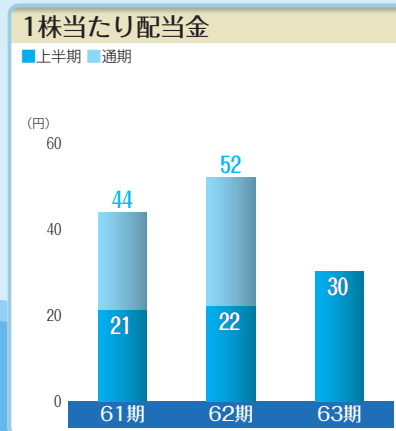
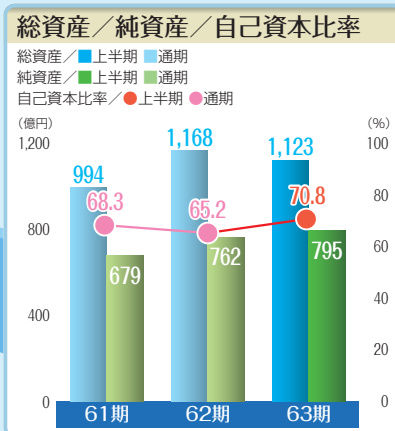
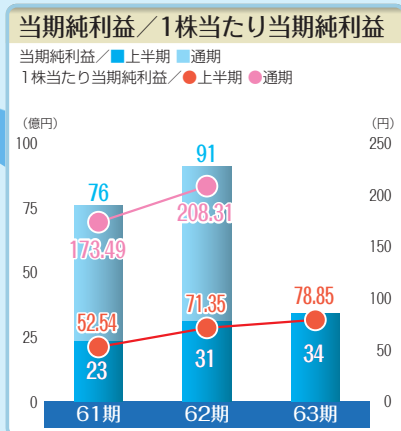
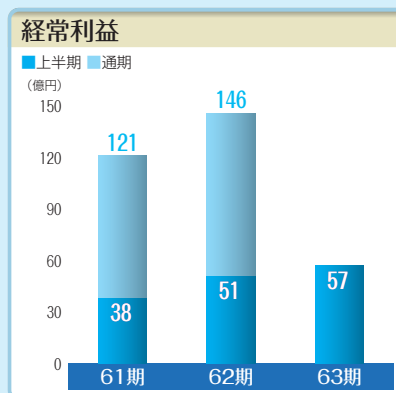
## ● 上半期連結決算ハイライト ●

**売上高** 671億円 (前年同期比10.8%増)

**営業利益** 52億円 (前年同期比 2.0%減)

**経常利益** 57億円 (前年同期比11.5%増)

**四半期純利益** 34億円 (前年同期比10.5%増)



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは、2013年9月30日をもちまして第63期上半期を終了いたしましたので、ここにその概要をご報告申し上げます。

当上半期は、国内市場では昨年の診療報酬の引き上げなどにより急性期病院の設備投資が増加傾向にあり、病院・診療所市場ともに好調に推移しました。また、AEDの販売も好調でした。海外市場では事業基盤の強化を進める米国と新興国市場で売上を伸ばすことができました。

この結果、売上高につきましては前年同期を大きく上回ることができました。営業利益は僅かながら前年同期に届きませんでした。経常利益、四半期純利益は上回ることができました。

当社グループは、第63期から4ヵ年中期経営計画「Strong Growth 2017」をスタートさせました。当中期経営計画の重要課題に全社一丸となって取り組み、「売上高1,700億円、営業利益180億円、海外売上高比率28.5%」の目標達成を目指していきます。そして、2020年を展望した長期ビジョン「The CHANGE 2020」の実現に向け、更なる飛躍を遂げてまいります。

なお、当期の中間配当は、1株につき30円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
会長執行役員

荻野和郎

代表取締役  
社長執行役員

鈴木文雄

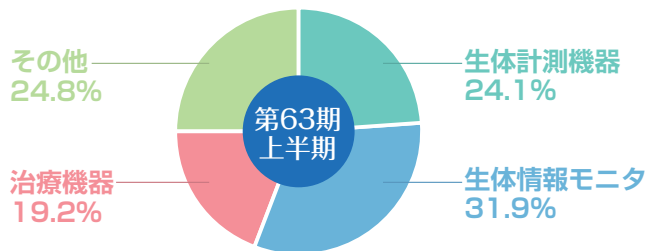
## 事業の概況・商品群別の概況(連結)

当上半期における当社グループを取り巻く事業環境は、国内では、昨年の診療報酬プラス改定や地域医療再生基金事業の推進を受けて、引き続き急性期病院の設備投資は堅調に推移しました。一方、政府が健康・医療戦略の実現に向けて取り組んでいることもあり、医療機器産業は将来の成長産業として注目を集めることとなりました。海外では、欧州は緊縮財政の影響を受けたものの、米国、新興国における医療機器の需要は底堅く推移しました。

このような状況下、当社グループは、本年4月から4か年中期経営計画「Strong Growth 2017」をスタートさせ、「技術開発力の強化」、「コア事業のさらなる成長」などの重要課題に取り組んでいます。

当上半期の売上高は前年同期比10.8%増の671億4千8百万円となりました。利益面では、自社の売上構成比率に変動はなかったものの、円安による輸入原材料・商品の価格上昇等から、売上原価率が上昇しました。また、研究開発投資や業容拡大に向けた人員の増強により販管費が増加したため、営業利益は前年同期比2.0%減の52億9千9百万円となりました。一方で、為替差益の計上により、経常利益は前年同期比11.5%増の57億8千7百万円、四半期純利益は前年同期比10.5%増の34億6千4百万円となりました。

商品群別売上高構成比



4か年中期経営計画(2013/4~2017/3)

### Strong Growth 2017

#### 6つの重要課題

1. 世界トップクオリティの追求
2. 技術開発力の強化
3. 地域別事業展開の強化
4. コア事業のさらなる成長
5. 新規事業の創造
6. 企業体質の強化

#### 経営目標値(2017年3月期)

	66期(2017/3) 目標値
売上高	1,700億円
国内売上高	1,215億円
海外売上高	485億円
営業利益	180億円
ROE	13.0%

## 生体計測機器



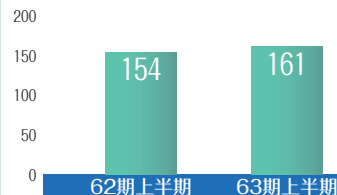
脳波計、筋電図・誘発電位検査装置、心電計、心臓カテーテル検査装置、診断情報システム、関連の消耗品(記録紙、電極、カテーテルなど)、保守サービスなど

**国内** 脳神経系群、心電計群は前年同期を下回りましたが、心臓カテーテル検査装置群が好調に推移しました。

**海外** 脳神経系群、心電計群ともに全ての州で売上を伸ばしました。

#### ■売上高推移(単位: 億円) -----

売上高 161億円(前年同期比4.6%増)



## 生体情報モニタ



ベッドサイドモニタ  
PVM-2701

心電図、呼吸、SpO<sub>2</sub>(動脈血酸素飽和度)、NIBP(非観血血圧)等の生体情報を連続的にモニタリングする生体情報モニタ、臨床情報システム、関連の消耗品(電極、センサなど)、保守サービスなど

**国内** センサ類などの消耗品が好調に推移しました。

**海外** 欧州は低調だったものの、米州、アジア州、その他地域が好調に推移しました。

## 治療機器



自動体外式除細動器  
AED-2152

除細動器、AED(自動体外式除細動器)、心臓ペースメーカ、人工呼吸器、迷走神経刺激装置、人工内耳、関連の消耗品(電極パッド、バッテリーなど)、保守サービスなど

**国内** AEDの売上がラインアップの充実や更新需要の取り込みにより大幅に伸びました。

**海外** デフィブテック社が寄与したほか、一般市民によるAEDの使用が解禁された台湾で需要が高まり、AEDの売上が大幅に伸びました。

## その他



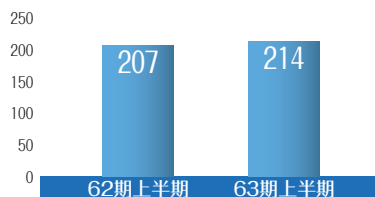
全自動血球計数器  
MEK-6500

血球計数器、超音波診断装置、研究用機器、変成器、消耗品(試薬、衛生用品など)、設置工事・保守サービスなど

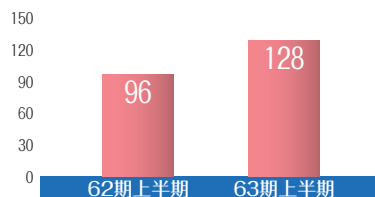
**国内** 新商品効果もあり検体検査装置が好調だったほか、仕入品も売上を伸ばしました。

**海外** インドを中心に、全ての地域で血球計数器と試薬が好調に推移しました。

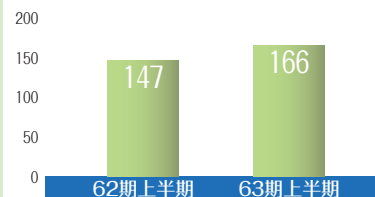
売上高 214億円 (前年同期比3.4%増)



売上高 128億円 (前年同期比33.7%増)



売上高 166億円 (前年同期比13.0%増)



# 事業の概況・地域別の概況(連結)

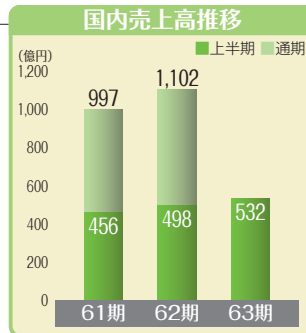
## 国内市場

病院・診療所市場、PAD(※)市場ともに好調に推移したことから、全ての商品群で売上を伸ばすことができました。特に、治療機器では、ラインアップ充実や更新需要の取り込みによりAEDが大幅に売上を伸ばしたほか、ペースメーカ、ICDの売上も前年同期を上回りました。生体計測機器では心臓カテーテル検査装置群が、生体情報モニターではセンサ類などの消耗品が好調でした。「その他」商品群では、新商品効果もあり検体検査装置が好調だったほか、仕入品も前年同期を上回りました。

この結果、国内売上高は前年同期比6.9%増の532億4千9百万円となりました。

(※)PAD(Public Access Defibrillation)：一般市民によるAEDを用いた除細動。

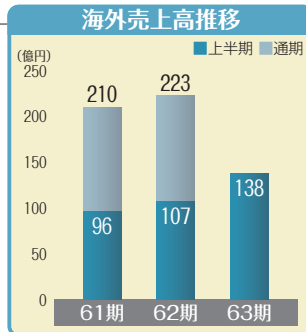
PAD市場には公共施設や学校、民間企業などが含まれる。



## 海外市場

円安の影響もあり、全ての地域、全ての商品群で増収となりました。商品別には、除細動器やAED、血球計数器が好調に推移しました。AEDでは、昨年11月に買収したデフィブテック社の売上も寄与しました。地域別には、米州では、米国、中南米ともに売上が大幅に伸長しました。欧州は、前年同期のロシアにおける大幅増収の反動もあり、現地通貨ベースでは前年同期を下回りました。アジア州では、現地販売・サービスの体制強化を進めるインド、中近東で売上が大きく伸長しました。一方、中国での売上は、日中関係の影響により現地通貨ベースでは前年同期を下回りました。

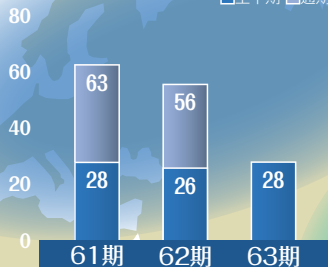
この結果、海外売上高は前年同期比29.0%増の138億9千9百万円となりました。



### 欧州売上高推移

(億円)

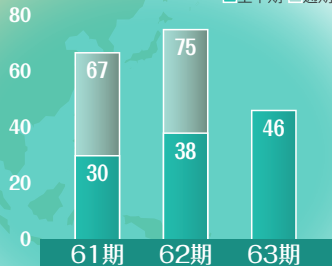
□ 上半期 □ 通期



### アジア州売上高推移

(億円)

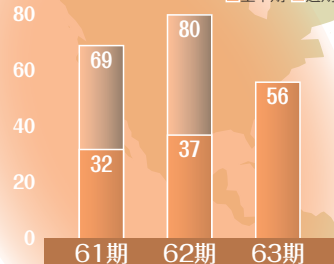
□ 上半期 □ 通期



### 米州売上高推移

(億円)

□ 上半期 □ 通期



### 医療現場の声を形にした新商品が続々登場！

当上半期は各商品群で新商品を相次ぎ発売しました。

生体計測機器では、17年ぶりの自社開発となる運動負荷心電図測定装置「STS-2100」を発売しました。「STS-2100」は虚血性心疾患の診断や心臓リハビリテーション、運動療法など幅広い用途で使用できます。また、成長が期待される新興国市場向けには中国で開発・生産した普及タイプの心電計「ECG-2350」を発売しました。

生体情報モニタでは、送信機の波形と数値を確認できる手のひらサイズの携帯型受信機「ZT-210P」を発売しました。当社はカラー画面付の送信機を発売していますが、医療の現場では依然として画面のない送信機が多く使われており、看護師が患者さんの容態を確認するためには、ナースステーションに戻る必要がありました。「ZT-210P」はその場で患者さんの生体情報が確認できるため、看護師の業務負荷軽減になると好評を得ています。

検体検査装置では当社初となるヘモグロビンA1cを測定できる臨床化学分析装置「CHM-4100」を発売しました。「CHM-4100」は糖尿病の診断指標であるヘモグロビンA1cと、感染症などの早期診断に役立つC反応性たんぱくの2項目を測定します。少量の血液で検査でき、測定時間が短いため、患者さんの負担を減らせるとともに、医療従事者の業務負荷軽減にもつながります。

#### 生体計測機器



運動負荷心電図測定装置「STS-2100」

心電計「ECG-2350」

#### 生体情報モニタ



携帯型受信機「ZT-210P」

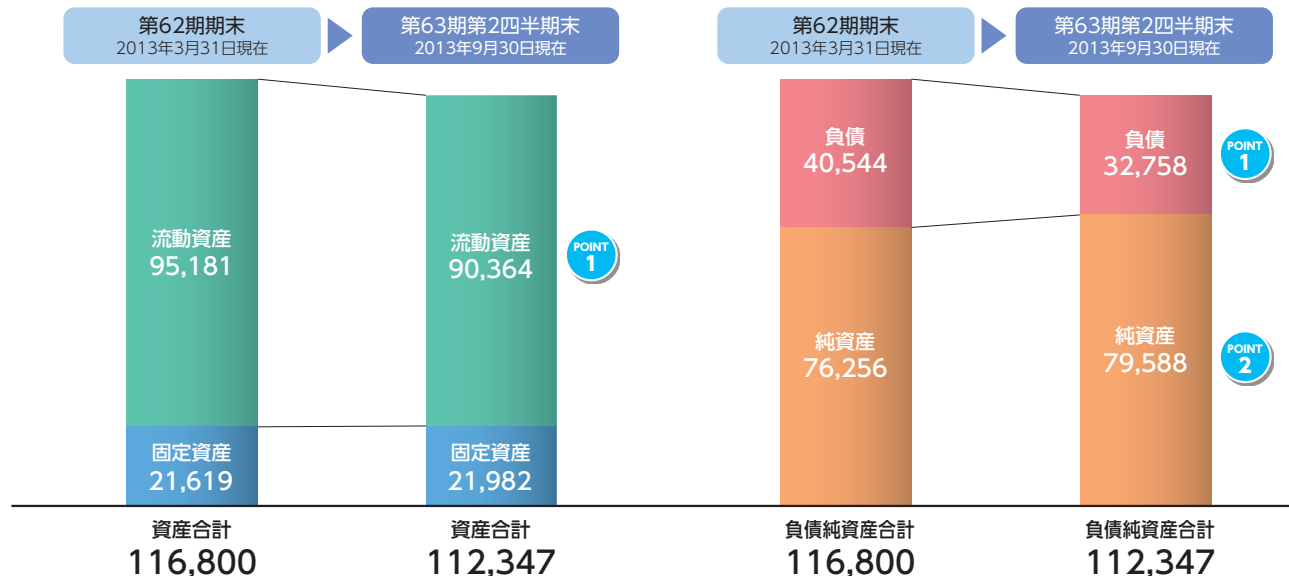
#### 検体検査装置



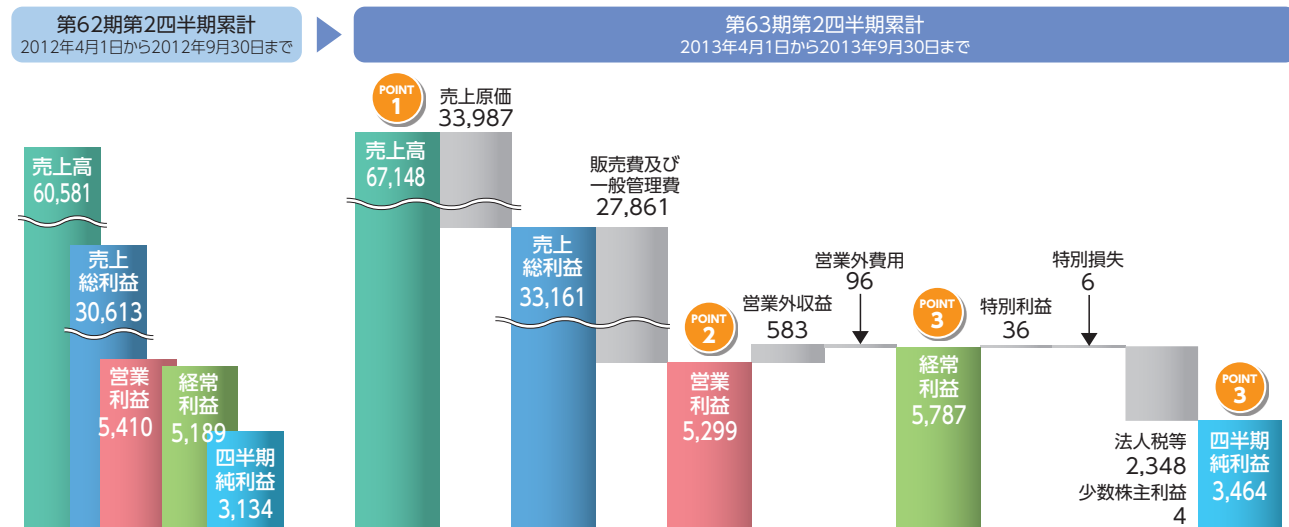
臨床化学分析装置「CHM-4100」

# 連結決算概要

## 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



## 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)





## 連結貸借対照表のポイント

POINT  
1

### 流動資産／負債

#### 受取手形及び売掛金、支払手形及び買掛金

当社は、上期末の取引高に比べ年度末の取引高が多い傾向にあります。そのため、前期末から売上債権(受取手形及び売掛金)は77億円、仕入債務(支払手形及び買掛金)は44億円減少しました。

POINT  
2

### 純資産

利益剰余金が21億円増加したことなどから、前期末に比べ33億円増加しました。また、自己資本比率は70.8%となりました。

## 連結損益計算書のポイント

POINT  
1

### 売上高

国内売上高は病院・診療所市場やAEDが好調に推移しました。海外売上高は全ての地域で売上を伸ばしました。全体では前年同期比10.8%増となりました。

POINT  
2

### 営業利益

売上原価率の上昇に加え、研究開発費や業容拡大に向けた人員の増強などにより販管費が増加したため、前年同期比2.0%減となりました。

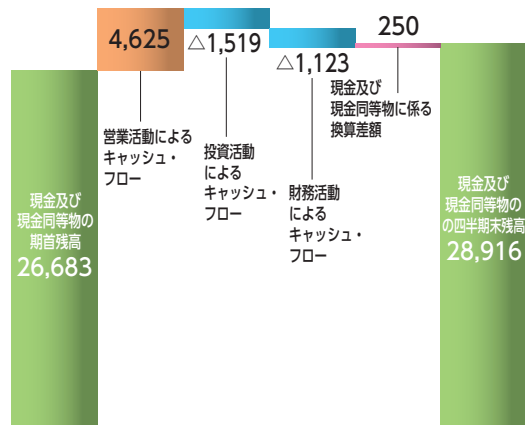
POINT  
3

### 経常利益、四半期純利益

為替差益を3億円計上したことにより、経常利益は前年同期比11.5%増、四半期純利益は同10.5%増となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)

第63期第2四半期累計  
2013年4月1日から2013年9月30日まで



## 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、46億円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益58億円、売上債権の減少79億円、仕入債務の減少44億円、法人税等の支払39億円などです。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、15億円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得12億円、無形固定資産の取得3億円などです。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

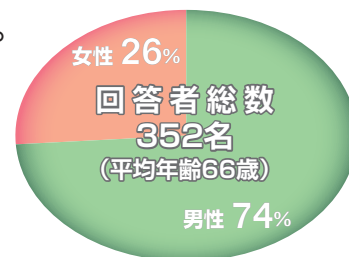
財務活動の結果使用した資金は、11億円となりました。主な内訳は、配当金の支払13億円などです。

# 「株主さまアンケート」集計結果のご報告

## アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

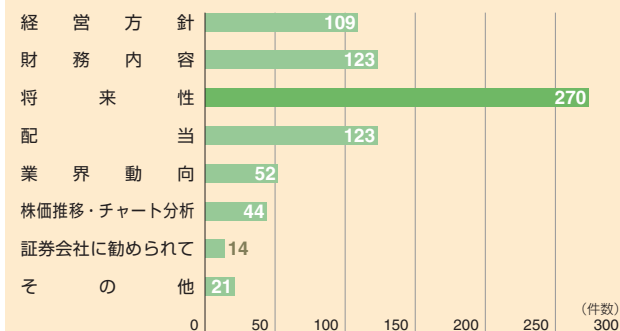
当社では、株主さまのご意見を経営・IR活動に反映させるべく、当株主通信を通じて継続的に「株主さまアンケート」を実施しております。

前回の第62期株主通信で実施したアンケートには、352名の株主さまから貴重なご回答をお寄せいただきました。この紙面を借りてご協力いただいた株主の皆さまにお礼申し上げます。また、今後とも、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

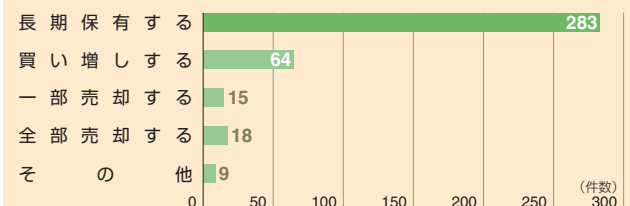


### 「株主さまアンケート」集計結果

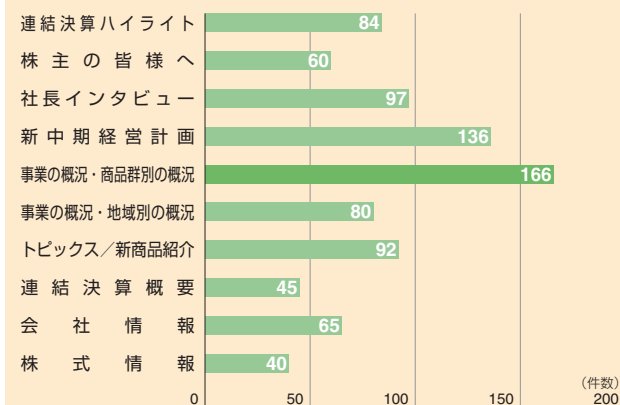
#### 当社株式を購入された理由をお選びください。\*



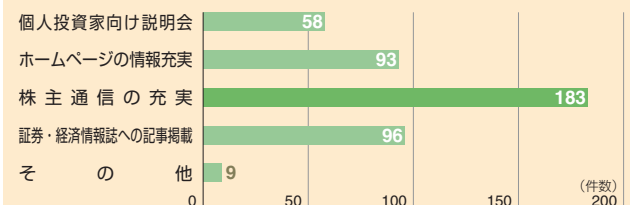
#### 今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか。\*



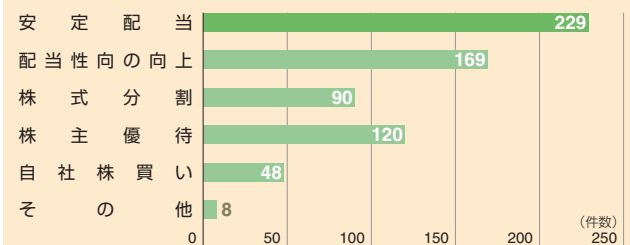
#### 今回の株主通信で興味を持たれた内容をお選びください。\*



#### 今後期待する当社の情報入手手段をお選びください。\*



#### 株主政策として何を重視しますか。\*



\*複数回答となっております。

## 会社概要

呼 称	日本光電(NIHON KOHDEN)
社 名	日本光電工業株式会社 (NIHON KOHDEN CORPORATION)
設 立	1951年8月7日
資 本 金	75億4,400万円
売 上 高	連結1,325億円(2013年3月期)
事業内容	医用電子機器の開発・製造・販売
従業員数	連結4,360名(2013年3月末現在)
子 会 社	国内14社 海外18社(アメリカ、ブラジル、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、イギリス、中国、シンガポール、インド、アラブ首長国連邦、韓国)(2013年9月30日現在)

## 役員(2013年9月30日現在)

〈取締役・監査役〉	〈執行役員〉
代表取締役 荻野 和郎	会長執行役員 荻野 和郎
代表取締役 鈴木 文雄	社長執行役員 鈴木 文雄
取 締 役 白田 憲司	専務執行役員 白田 憲司
取 締 役 伊澤 敏次	専務執行役員 伊澤 敏次
取 締 役 塚原 義人	常務執行役員 塚原 義人
取 締 役 荻野 博一	常務執行役員 荻野 博一
取 締 役 田村 隆司	上席執行役員 田村 隆司
取 締 役 会田 洋志	上席執行役員 会田 洋志
社外取締役 山内 雅哉	上席執行役員 中川 辰哉
社外取締役 小原 實	上席執行役員 田中 栄一
常勤監査役 黛 利信	上席執行役員 広瀬 文男
常勤監査役 杉山 雅己	上席執行役員 生田 一彦
社外監査役 加藤 修	執行役員 山森 伸二
社外監査役 河村 雅博	執行役員 平田 茂
	執行役員 平岡 俊彦
	執行役員 吉竹 康博
	執行役員 柳原 一照
	執行役員 上松 芳章
	執行役員 真柄 睦
	執行役員 森永 修平
	執行役員 下田 和臣

## 株式の状況(2013年9月30日現在)

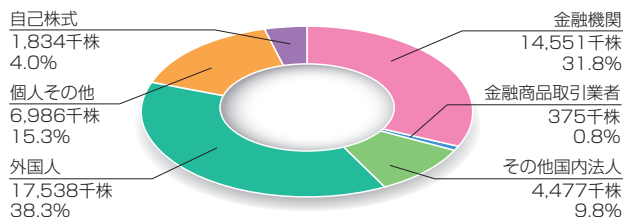
発行可能株式総数	98,986,000株
発行済株式の総数	45,765,490株
株主数	6,112名(前期末比65名増)

## 大株主(2013年9月30日現在)

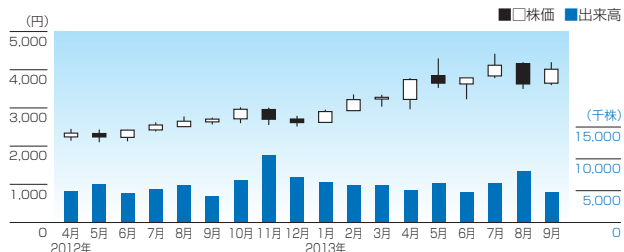
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,343	5.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,204	4.81
株式会社埼玉りそな銀行	2,096	4.58
東芝メディカルシステムズ株式会社	1,990	4.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,962	4.28
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	1,817	3.97
RBC IST LONDON-CLIENTS ACCOUNT	1,161	2.53
富士通株式会社	1,063	2.32
ROYAL BANK OF CANADA (信託口)	791	1.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	662	1.44

※当社は、自己株式1,834千株(持株比率4.00%)を保有していますが、上記の大株主の記載からは除いています。

## 株式分布状況(2013年9月30日現在)



## 株価・出来高の推移



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月中		
基準日	定時株主総会・期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話照会先	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)		

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

## 日本光電

日本光電工業株式会社

東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560 ☎(03)5996-8000(代表)

## CSR(企業の社会的責任)活動のご紹介



当社は、会社と個人が一丸となり、社会貢献に取り組んでいます。災害ボランティアの休暇制度など、社員のボランティア活動を支援するとともに、群馬県の富岡第二工場がドクターヘリ・防災ヘリのランデブーポイント(場外離着陸場)を提供しています。



## 個人投資家向け会社説明会を開催しました

2013年9月、当社の東中野事業所がある東京都中野区で個人投資家向け会社説明会を開催しました。  
 今後も当社について理解を深めていただくとともに、日本光電の認知度向上に努めてまいります。



### ホームページのご案内 <http://www.nihonkohden.co.jp/>



当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っています。ぜひご覧ください。

